

[畜産部門 令和6年度 普及に移す研究成果]

事 項 名	チモシーの奨励品種「なつぴりか」の特性		
ね ら い	本県に適するチモシーの品種（中生）を選定するため、流通品種の生育特性及び収量性を検討した結果、「なつぴりか」が既存の奨励品種と比較して、生育特性及び収量性に優れることが明らかになったので、奨励品種として普及に移す。		
内 容	<p>1 来歴 「なつぴりか」は（地独）北海道立総合研究機構北見農業試験場において育成されたチモシー品種であり、種子は平成30年から販売されている。</p> <p>2 主な特性（標準品種「アッケシ」との比較） (1) 発芽の良否：優れる。 (2) 定着時草勢：やや優れる。 (3) 越冬性：同程度である。 (4) 早春の草勢：同程度である。 (5) 出穂始期：1日遅い。 (6) 越夏性：やや優れる。 (7) 秋の被度：同程度である。 (8) 病害程度：同程度である。 (9) 倒伏の発生：同程度である。 (10) 収量性：優れる。 (11) 早晩性：中生品種である。</p>		
期待される効果	粗飼料の安定生産に資する。		
普及上の注意事項	なし		
問合せ先（電話番号）	畜産研究所 酪農飼料環境部 (0175-64-2791)	対象地域及び経営体	県内全域の養牛農家等
発表文献等	なし		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 「なつぴりか」の生育特性

(令和元～5年 青森畜産研)

形 質	選定品種	標準品種	備 考 (評価法等)
	なつぴりか	アッケシ	
発芽の良否	6.0	5.0	1 (極不良) ～ 9 (極良)
定着時の草勢	6.0	5.5	"
越冬の草性	6.6	6.7	"
早春の草勢	6.4	6.3	"
出穂始期	6月9日	6月8日	
越冬の草性	6.2	5.5	1 (極不良) ～ 9 (極良)
秋の草勢	5.9	5.8	"
秋の被度	84.4	84.3	%
草丈 (1番草)	109	106	cm
草丈 (2番草)	78	70	"
草丈 (3番草)	40	35	"
倒伏程度	1.0	1.0	1 (無・微減) ～ 9 (甚)
病害程度	3.0	3.1	"

- (注) 1 発芽の良否及び定着時草勢は令和元年秋の調査。
 2 秋の被度は令和5年の値。
 3 1及び2以外の形質は令和2～5年の4か年平均。

表2 利用年次別の乾物収量 (kg/10a)

(令和2～5年 青森畜産研)

品種・系統名	利用1年目 (令和2年)				利用2年目 (令和3年)				利用3年目 (令和4年)				利用4年目 (令和5年)				4か年平均 年間計
	1番草	2番草	3番草	年間計	1番草	2番草	3番草	年間計	1番草	2番草	3番草	年間計	1番草	2番草	3番草	年間計	
なつぴりか	579	244	177	1,000 (109)	698	199	194	1,091 (114)	654	226	133	1,013 (109)	493	208	46	746 (109)	963 (110)
アッケシ (標)	560	214	143	918 (100)	611	175	168	954 (100)	612	191	128	931 (100)	485	154	48	687 (100)	873 (100)

(注) () 内数字は標準品種を100とした指数。

耕種概要

- 試験場所 畜産研究所内圃場
- 播種期、播種方法及び播種量 令和元年9月2日、条播、2.0kg/10a
- 施肥量
 - 土壌改良資材及び基肥 (10a 当たり)
 苦土炭カル：pH6.5 矯正量(改良深度 15 cm)
 ようりん：20%ようりん 125kg
 基肥：N-P₂O₅-K₂O=5-5-5kg
 - 追肥量 (kg/10a)

区 分	利用1年目			利用2年目以降		
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
早 春	5.0	3.3	3.3	8.0	5.3	5.3
1番草刈取後	3.0	2.0	2.0	4.8	3.2	3.2
2番草刈取後	2.0	1.3	1.3	3.2	2.1	2.1
年間計	10.0	6.6	6.6	16.0	10.6	10.6

- 刈取期 1番草：利用1～3年目は標準品種の出穂期。
 利用4年目は各品種の出穂期。
 再生草：標準品種の草丈が60～70cmで一斉刈り。